

## 第44回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 次 第

日 時 令和2年11月12日（木）16:00～

場 所 県庁北庁舎2階 危機管理センター  
災害対策本部会議室

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (3) その他

### 3 閉 会

(配布資料)

- 【資料1】 福島県における新型コロナウイルス感染者の状況等について
- 【資料2】 国内における最近の新規感染者発生状況について
- 【資料3】 新型コロナウイルス感染症対策について
- 【資料4】 PCR検査可能検体数の取り扱いの変更について
- 【資料5】 新型コロナウイルス感染症に関する今後の検査需要と体制について
- 【資料6】 「感染リスクが高まる『5つの場面』」リーフレット

## 第44回新型コロナウイルス感染症対策本部員会議名簿

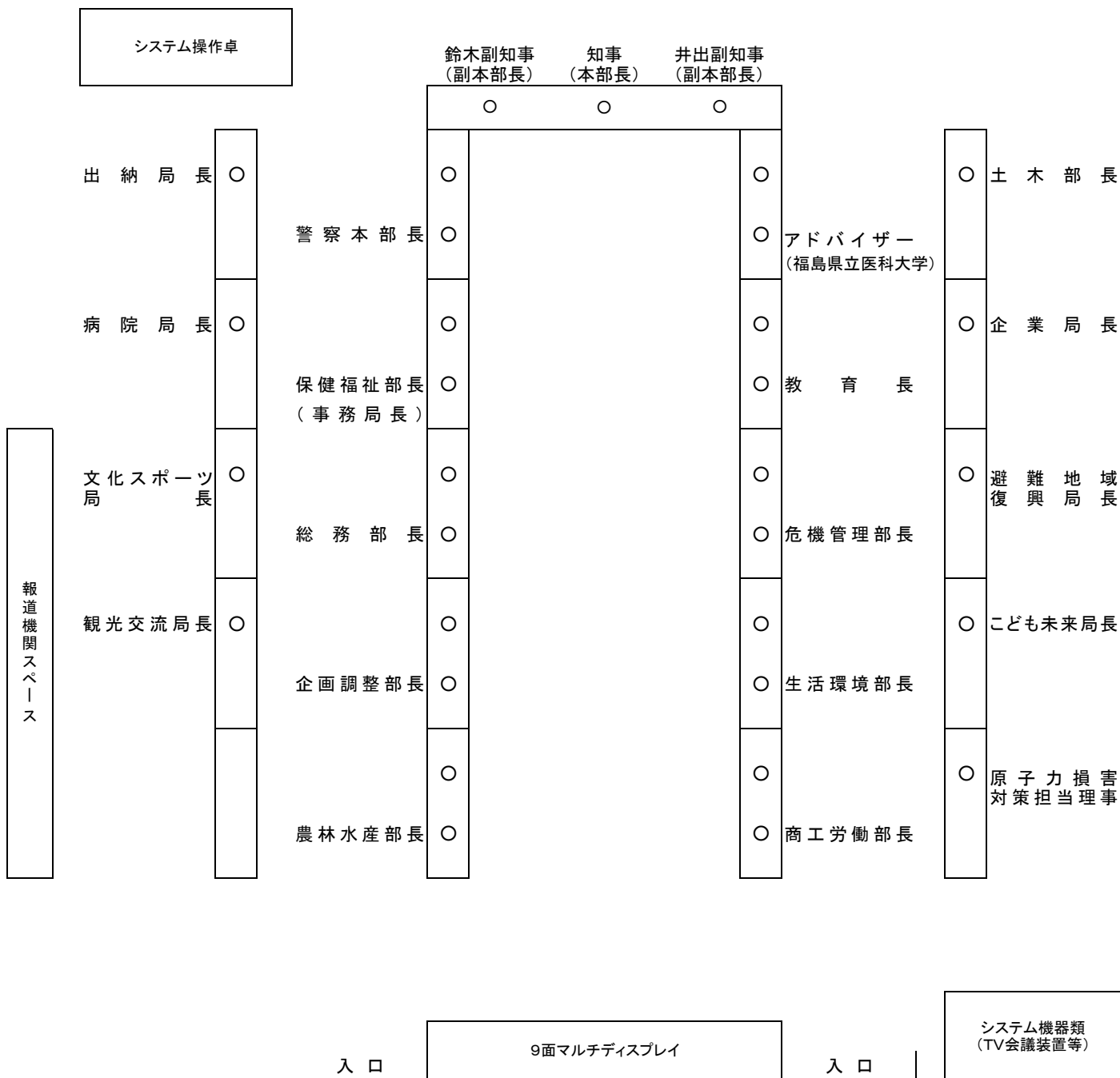
	所属名	職名	氏名	備考
1		知事	内堀雅雄	
2		副知事	鈴木正晃	
3		副知事	井出孝利	
4	総務部	部長	佐藤宏隆	
5	危機管理部	部長	大島幸一	
6	企画調整部	部長	橘清司	
7	避難地域復興局	局長	安齋浩記	
8	文化スポーツ局	局長	野地誠	
9	生活環境部	部長	渡辺仁	
10	保健福祉部	部長	戸田光昭	
11	こども未来局	局長	佐々木秀三	
12	商工労働部	部長	宮村安治	
13	観光交流局	局長	國分守	
14	農林水産部	部長	松崎浩司	
15	土木部	部長	猪股慶藏	
16	出納局	局長	阿部雅人	
17	原子力損害対策担当	理事	高荒由幾	
18	企業局	局長	安達和久	
19	病院局	局長	伊藤直樹	
20	教育委員会	教育長	鈴木淳一	
21	警察本部	本部長	和田薫	
○	福島県感染症対策アドバイザー	県立医科大学教授	金光敬二	

### 【事務局】

	所属名	職名	氏名	備考
1	新型コロナウイルス感染症対策本部	事務局次長	三浦爾	
2	新型コロナウイルス感染症対策本部	総括担当次長	中島博	
3	新型コロナウイルス感染症対策本部	総括班長	境野浩義	
4	新型コロナウイルス感染症対策本部	総括班長(兼) 医療対策班長	金成由美子	
5	新型コロナウイルス感染症対策本部	医療対策班長	熊谷光彦	

# 第44回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 座席表

【危機管理センター災害対策本部会議室】



## 福島県における新型コロナウイルス感染者の状況等について

令和2年11月11日現在

## 【感染者の状況】

## ○陽性者数と内訳

陽性者数 421人  
 (うち死亡者数 6人)

## (性別)

男性 248人  
 女性 173人

## (年代別)

10歳未満 9人  
 10代 35人  
 20代 66人  
 30代 66人  
 40代 60人  
 50代 75人  
 60代 56人  
 70代 30人  
 80代 18人  
 90代 6人

## ○入退院の状況

入院者数(入院予定を含む) 35人  
 他県届出陽性者の入院者数 2人  
 入院者計 37人  
 (うち重症者数 2人)  
 宿泊療養施設入所者数 4人  
 退院・退所者数(死亡者含む) 382人

## 【病床等の確保状況】

確保病床数 469床  
 (うち重症者用病床数 42床)  
 病床利用率 7.9%  
 宿泊療養確保室数 160室

## 【検査の状況】

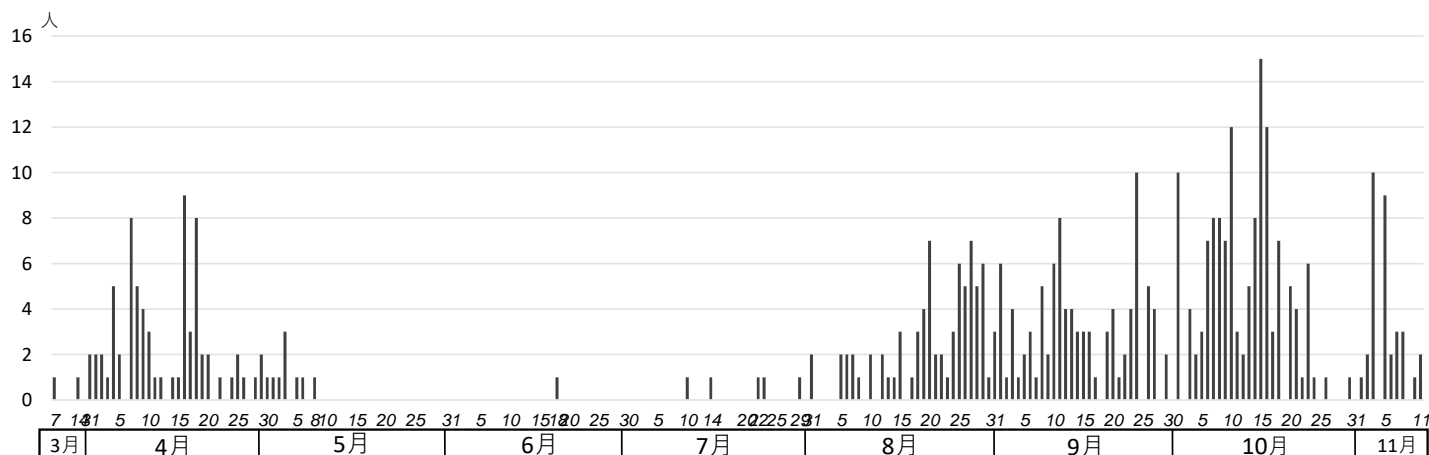
1/26～11/11累計 34,473件  
 ※退院のための検査、チャーター機帰国者、クルーズ船乗客等を除く

## (参考)

国内の陽性者数 108,716人

※令和2年11月11日0時時点(厚生労働省情報)  
 ※空港検疫、チャーター便帰国者、クルーズ船乗員・乗客を除く

## 【陽性者数の推移】



【相談対応の状況】（11月11日現在）

○新型コロナウイルス感染症相談専用ダイヤル（コールセンター）相談件数

（参考）保健所の対応件数

1/29～2/29	568
3/1～3/31	814
4/1～4/30	5,057
5/1～5/31	1,909
6/1～6/30	600
7/1～7/31	854
8/1～8/31	1,187
9/1～9/30	821
10/1～10/31	776
11/1～11/11	215
計	12,801

（単位：件）

1/29～2/29	1,749
3/1～3/31	2,953
4/1～4/30	11,959
5/1～5/31	2,968
6/1～6/30	1,325
7/1～7/31	1,865
8/1～8/31	2,475
9/1～9/30	2,081
10/1～10/31	2,176
11/1～11/11	398
計	29,949

（単位：件）

○受診・相談センター（県内9か所）相談件数

1/29～2/29	343
3/1～3/31	1,712
4/1～4/30	10,987
5/1～5/31	6,949
6/1～6/30	5,083
7/1～7/31	4,727
8/1～8/31	6,920
9/1～9/30	5,434
10/1～10/31	6,566
11/1～11/11	3,610
計	52,331

（単位：件）

※10月までは帰国者・接触者相談センター

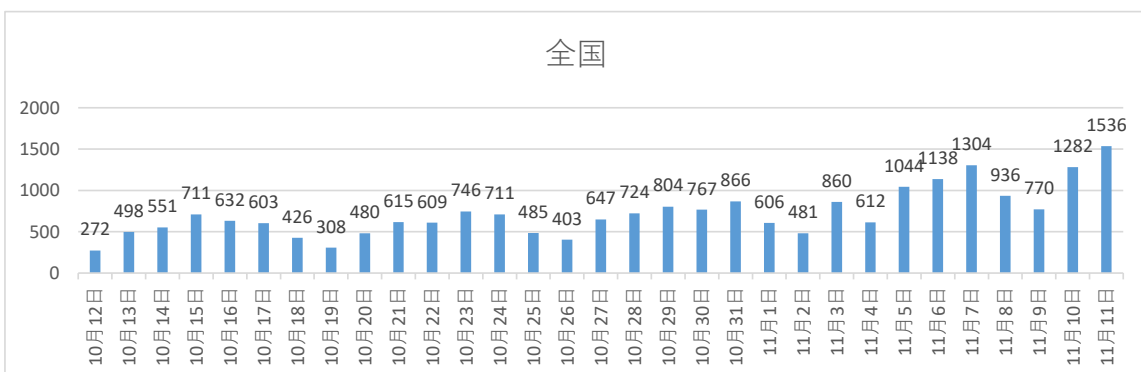
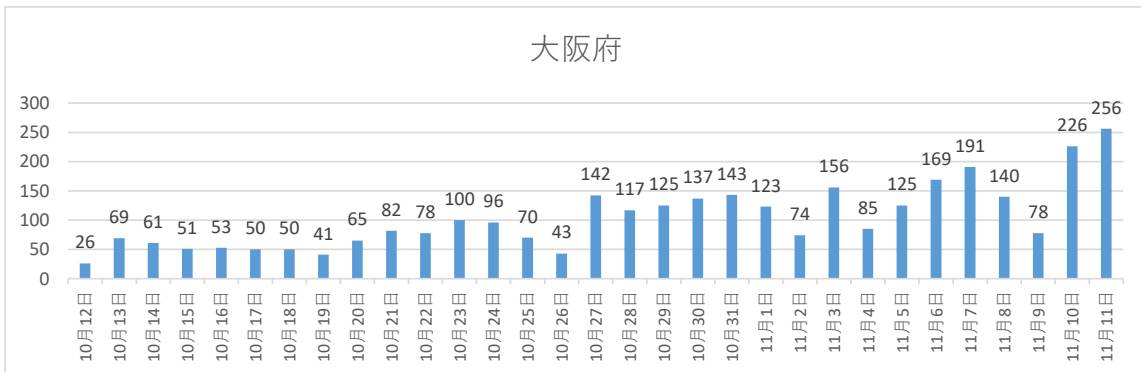
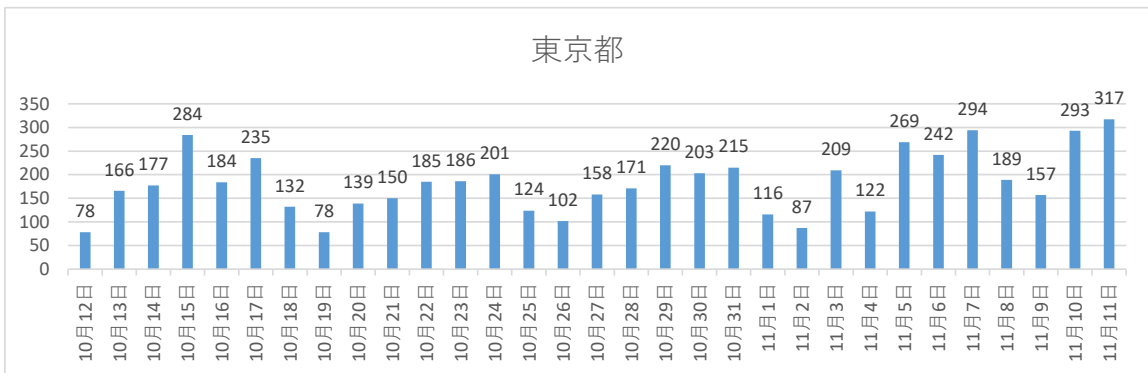
R2.11.12

## 国内における最近の新規感染者発生状況について

都道府県別新規感染者数（上位 5 都道府県）

（単位：人）

順位	都道府県名	11/5～11/11の 新規感染者数 (直近1週間)	左記10万人当たり 新規感染者数	(参考) 10/12～11/11までの 新規感染者数
1	東京都	1,761	12.65	5,683
2	大阪府	1,185	13.45	3,222
3	北海道	1,137	21.66	2,206
4	神奈川県	694	7.55	2,101
5	愛知県	645	8.54	1,563
27	福島県	20	1.08	104
	全国計	8,010		22,426



## 新型コロナウイルス感染症対策について

## 1 基本方針に基づく対応状況（継続中の取組及び前回本部員会議以降に実施した取組の概要）

※ 太枠：前回の本部員会議以降に実施した取組

## (1) 情報提供・共有

1		・新聞の県政広報及びテレビ・ラジオによる県政番組やスポットCM、県公式ツイッターなどにより、咳エチケットや手洗いなどの感染予防対策や県主催イベントの開催中止、「新しい生活様式」に関する広報等について発信	総務部
2		・県ホームページのトップページからのリンクに知事メッセージ及び新型コロナウイルス関連情報を掲載	総務部
3		・県内の検査結果状況等をホームページ上で毎日更新	総務部
4		・県内の感染発生の概要等についてホームページに記載	総務部
5		・陽性患者発生時等における臨時会見動画の配信、手話付き動画の作成配信	総務部
6	4/22～	・都道府県をまたぐ移動の自粛を促すため、県内80箇所の道路情報板に「不要不急の外出は自粛ください」を表示。また、緊急事態宣言時に事業の継続が求められる医療関係物資や食料品等の物流を支える長距離ドライバー等へ「物流を支える皆様ありがとうございます」の感謝のメッセージを交互に表示 ・道路情報板表示内容・期間 「外出時は感染防止策の徹底を」 (6/1～当面の間)	土木部
7	4/28～	・県境を跨ぐ県管理道路25箇所に移動自粛等を呼びかける看板を設置 ・道路看板表示内容・期間 「感染拡大防止 外出時は感染防止対策を徹底しましょう」 (6/1～当面の間)	土木部
8	6/1～	・人が集まり混雑が見込まれる海岸に設置していた「立ち入り自粛」の看板を「3つの密を避けましょう」の看板へ変更	土木部
9	6/19～	・ピクトグラムにより「新しい生活様式」の実践例を示したポスター・チラシを作成・配布するとともに、事業者等が実践ポスターを簡単に作成できる特設サイトを開設	対策本部、 総務部
10	7/20～	・県のホームページに、各都道府県の感染症の発生状況が参照できるページを開設	対策本部、 総務部
11	8/8～	・新聞、テレビ、ラジオ等を活用し、新しい生活様式や医療提供体制に関する広報を実施	対策本部
12	9/3	・新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発動画「THE NEW NORMAL FUKUSHIMA～福島 己を知る～」の完成発表	観光交流局
13	9/30～	・『新しい生活様式』福島県周知ポスター・チラシの無料配布を開始	対策本部、 総務部
14	10/19	・新型コロナウイルス感染症に関する支援制度ガイドブック（第9版）を作成	対策本部
15	10/24～	・インフルエンザ流行に備えた新しい受付・相談体制について、県政広報媒体（新聞2紙、民放TV4局、県広報誌）を活用し広報を開始	対策本部、 総務部
16	10/26～	・インフルエンザ流行に備えた新しい受付・相談体制について、市町村広報誌による広報を依頼	対策本部
17	11/6～	・新型コロナウイルス感染症に関する検査体制や相談窓口等の情報を掲載した外国人住民向けの専用ページを開設	総務部

## (2) サーベイランス・情報収集

18	・感染症法に基づく患者発生状況の把握と積極的疫学調査の実施	対策本部、 保健福祉部
----	-------------------------------	----------------

※ 相談体制については、(4)の1) 相談体制に記載

※ 検査体制については、(4)の3) 検査体制に記載

## (3) まん延防止

### 1) 感染拡大防止対策等

	①全般的な取組	
19	6/17 ・接待を伴う飲食店等の関係団体が定めた感染拡大予防ガイドライン等を公表	対策本部、 危機管理部
20	6/17～ ・休業要請の対象とならない事業者についても一定要件のもと、「新しい生活様式」に対応するための取組を支援する給付金の受付を開始。	商工労働部
21	7/16 ・全国的又は大規模イベントの開催に伴う事前相談の受付を開始	対策本部
22	9/11 ・「福島県飲食業等における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づく感染防止対策が実施されている飲食店等に対してステッカーを配布することで、県民に対する正しい情報提供を図り、飲食店等の自主的な感染防止対策の実施を推進する。	保健福祉部
23	9/17 ・福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改定	対策本部、 危機管理部
24	9/17 ・県有施設における大規模イベント等の取扱いを公表	対策本部、 危機管理部
25	10/23 ・県外旅行ツアーでの感染事案発生を受け、県内旅行業者及び宿泊事業者に対し、「感染防止対策の徹底について(依頼)」を发出し、観光庁事務連絡の周知と併せ、感染防止対策の徹底を働きかけた。	観光交流局
26	10/29 ・郡山市との共催で、駅前飲食店を対象とした感染防止対策セミナーを11月9日(月)に開催した。	保健福祉部
27	②医療機関等へのマスク・消毒液等の配付(令和2年11月11日現在)	対策本部、保 健福祉部、こ ども未来局
	i) 医療機関に対する主な医療資材の配付状況 ・マスク 累計 3,698,000枚 ・フェイスシールド 累計 401,000枚 ・医療用ガウン 累計 1,420,000枚 ii) 福祉施設に対するマスク・消毒液の配付状況 ・保護施設 (マスク) 累計 18,500枚 (消毒液) 累計 129リットル ・高齢者施設等 (マスク) 累計 1,108,722枚 (消毒液) 累計 5,555リットル ・障がい者支援施設 (マスク) 累計 265,850枚 (消毒液) 累計 3,513リットル ・こども園・保育所等 (マスク) 累計 120,700枚 (消毒液) 累計 4,218リットル ・児童養護施設等 (マスク) 累計 215,000枚 (消毒液) 累計 4,168リットル	

## (4) 医療等

### 1) 相談体制

28	2/18 ・新型コロナウイルスに関する心のケアについての、精神保健福祉センターにて相談を受ける体制を整備	対策本部、 保健福祉部
----	---	----------------



29	3/27	・コールセンター等による電話相談に加え、相談窓口の充実を図るため、LINEを活用したサポートを開始	対策本部、 保健福祉部
30		・外国人住民が帰国者接触者相談センター等に相談する際、3者同時通話（電話）による通訳支援を実施（英語中国語タガログ語ポルトガル語韓国語ベトナム語に対応）	対策本部、 保健福祉部
31	5/25	・新型コロナウイルス感染症相談専用ダイヤル（コールセンター）等の回線数を増設。 ・相談専用ダイヤル（コールセンター）：5回線 ・帰国者・接触者相談センター：15回線 ※21:00～8:30は4回線	対策本部、 保健福祉部
32	11/1～	・「帰国者・接触者相談センター」を、インフルエンザ流行に備えた体制整備のため、「受診・相談センター」に名称変更	対策本部、 保健福祉部

## 2) 外来医療提供体制

33	9/9～	・県内の帰国者・接触者外来の設置数44	対策本部
34	11/10～	・発熱患者等の診療または検査を行う「診療・検査医療機関」として、260機関を指定	対策本部
35	11/16～	・福島市が地域外来を大原総合病院に設置予定	対策本部
36	11/20～	・福島市が地域外来を福島赤十字病院に設置予定 県内の地域外来の設置数22（うち県委託15）	対策本部

## 3) 検査体制

37	9/1～	・妊婦に対するPCR検査への助成開始	こども未来局
38	11/9～	・新型コロナウイルス感染症の検査を実施する一般の診療所等と県等が、県医師会を代理人として9月8日に締結した、保険診療の患者負担金に係る集合契約施設、及びこれまでに個別に契約した医療機関が362となった	保健福祉部
39	11/10～	・県内の一日あたりの検査可能数2,004検体 （行政検体可能数：832、保険診療検体可能数：1,172）	対策本部、 保健福祉部

## 4) 病床等確保と入院患者受入体制

40	4/1～	・県立医大医師を患者搬送コーディネーターに委嘱。新型コロナウイルス感染者の病院への移送、受入について、対策本部と協力して調整を実施	対策本部、 保健福祉部
41	4/7～	・対策本部内にDMAT班を設け、新型コロナウイルス感染者受け入れ施設の調整や受け入れ施設における医療従事者向けの対応マニュアル作成などを実施	対策本部、 保健福祉部
42	5/26	・医療機関における感染症拡大防止のため、感染症管理認定看護師等を派遣する感染症拡大防止専門家派遣事業を運用開始	対策本部、 保健福祉部
43	8/27	・病床確保計画に基づく病床等を確保 入院患者：最大病床数469床（計画上350床） 宿泊療養者：最大室数160室（計画上160室）	対策本部、 保健福祉部
44	9/15	・軽症者等宿泊療養施設として、「ホテル東横INN福島駅西口（60室）」を選定し、運用を開始 ※既存の東横INNいわき駅前（100室）と合わせて160室	対策本部、 保健福祉部

## 5) 患者受入・移送体制

45	6/11	・新型コロナウイルス感染患者の移送に関して、今後の感染拡大を想定し、全県統一して広域的・安定的な移送体制を確保するため、県内の全9保健所と全12消防機関とが包括的な協定を締結	対策本部、 保健福祉部
----	------	---	----------------

## 6) 医療人材の確保

46	5/26	・〔再掲〕医療機関における感染症拡大防止のため、感染症管理認定看護師等を派遣する感染症拡大防止専門家派遣事業を運用開始	対策本部、 保健福祉部
----	------	---	----------------

## 7) 診療情報の共有

47	4/30	・「キビタンケアネット」による新型コロナウイルス感染患者の入退院状況等の共有を開始	対策本部、 保健福祉部
48	5/14	・「キビタン健康ネット」による新型コロナウイルス感染患者の診療情報共有（特例包括対応）の運用を開始	対策本部、 保健福祉部

## 8) その他

49	7/28～	・医療機関や高齢者施設、障がい者施設等で働く職員へ支給する慰労金などについて、申請受付を開始	保健福祉部
----	-------	--	-------

## (5) 経済・産業・雇用対策

### ①企業への経営支援等

50	3/5	・県中小企業制度資金「新型コロナウイルス対策特別資金」を創設し、資金繰り支援を強化	商工労働部
51		・新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に売上げが落ち込んでいる飲食店の事業継続を支援する飲食店応援前払利用券発行支援事業を実施	商工労働部
52	6/15～	・県中小企業制度資金「新型コロナウイルス対策特別資金（実質無利子型）」の融資限度額を3,000万円から4,000万円に引き上げ。	商工労働部
53	7/9～	・活力ある商店街支援事業（新型コロナウイルス対応）を実施（新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな店舗が必要になったり、新しい生活様式に対応するための店舗拡大などに商店街の空き店舗を活用した場合にその取組に係る賃借料の一部を補助）	商工労働部
54	8/3～	・国・県・市町村等による新型コロナウイルス関連の公的融資制度を受けた県内中小企業がハイテクプラザの機器を使用する場合又はハイテクプラザに試験を依頼する場合にその使用料又は手数料を全額免除する措置を実施（R3. 3/31まで）	商工労働部
55	9/1～	・県全域での消費拡大策として、「コロナに負けるな！オールふくしま買って応援キャンペーン」第1期を開始（11/15まで）	商工労働部
56	9/14～	・県補助事業「新型コロナウイルス感染症対策支援事業」により福島県中小企業中央会が交付する交付金（4月又は5月の売上げが前年同月比20%以上50%未満減少した事業者を一定の要件のもとに支援する交付金）の申請受付を開始。（11/30まで）	商工労働部
57	10/15～	・「県民宿泊割引」の対象県拡大及び期間延長（東北6県・新潟県、2/1チェックアウトまで）	観光交流局
58	10/28～	・令和2年度「スタートアップ起業家緊急支援事業」の公募開始。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた創業5年以内の企業が行う販路の開拓・拡大等に向けた取組に対し、補助金を交付するとともに、専用応援サイトを立ち上げて掲載。	商工労働部

### ②世帯への貸付制度等

59	3/25	・新型コロナウイルス感染症発生の影響による休業や失業等により、一時的に収入が減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度の福祉資金（緊急小口資金）及び総合支援資金（生活支援費）について特例貸付の受付を開始	保健福祉部
60	4/20～	・生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金について、支給対象を拡充し、住居を失うおそれが生じている方への支援を拡大	保健福祉部

### ③相談体制

61	1/29	・商工団体などの関係機関が開設した相談窓口における事業者の経営相談に連携協力。（県内各商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会、よろず支援拠点、日本政策金融公庫、商工中金、信用保証協会が窓口を設置。）	商工労働部
62	常設	・福島県中小企業労働相談所（雇用労政課内）にて、雇用関係の各種相談に対応	商工労働部

63	3/3	・ 県との災害対策協定に基づき、社会保険労務士会内に電話相談ホットラインを開設	商工労働部
64	2/14～	・ 福島労働局が開設した特別労働相談室と連携	商工労働部
65	常設	・ 東京及び県内8カ所に設置する県就職相談窓口において、学生及び求職者の活動を支援	商工労働部
<b>④農林漁業者への対応等</b>			
66	4/21	・ 新型コロナウイルス感染症対策に関する農林水産分野の県相談窓口を本庁及び出先機関に設置	農林水産部
67	4/21	・ 「新型コロナウイルス感染症対策に関する農林水産分野支援等情報」を県ホームページで定期的に更新	農林水産部
68	7/8～	・ 新型コロナウイルス感染症の影響により毀損した輸出商流の維持・確保、海外ニーズの変化等に対応するため、輸出を行う食品事業者等に対し、施設の整備や機器の導入等を支援	農林水産部
69	7/8～	・ 新型コロナウイルス感染症拡大に起因する牛肉枝肉価格の大幅な下落により、経営危機に直面している県内の肥育農家に対し、経営体質強化等に必要な経費の一部を緊急に支援	農林水産部
70	10/7	・ 新型コロナウイルス感染症の影響により減収した農業者が令和3年の収入保険に新規加入する際の保険料及び福島県農業共済組合が令和2年度中に実施する加入促進に係る経費に対して補助金を交付する。	農林水産部

## (6) その他重要な留意事項

### 1) 人権等への配慮

71	常設	・ 児童生徒に対するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによるカウンセリング等や「ふくしま24時間子どもSOS」や「ふくしま子どもLINE相談」等の相談窓口を活用	教育庁
72	4/17～	・ 陽性患者やその関係者に加え、医療従事者などへの差別や偏見をしないよう呼びかけ	対策本部
73	9/9	・ 新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷等被害の電話相談窓口を設置	対策本部
74	10/7	・ インターネット、新聞、テレビ、ラジオ等各種メディアを活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う誹謗中傷を防止するための啓発事業を実施。	生活環境部

### 2) 緊急事態宣言後の取組み

75	9/17	・ [再掲]福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改定	対策本部、 危機管理部
----	------	-------------------------------	----------------

### 3) 社会機能の維持と県民生活・県民経済の安定

76	9/1～	・ 地域公共交通感染防止対策事業（運転代行）補助金の募集開始。HP等で周知。	生活環境部
77	9/14～	・ 地域公共交通感染防止対策事業（タクシー）補助金の募集開始。HP等で周知。 （運転代行業者やタクシー事業者が行う新型コロナウイルス感染防止対策に対して補助。申請受付期限は、郵送：12/31まで、持参：12/28まで）	生活環境部
78	9/17	・ [再掲]福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改定	対策本部、 危機管理部

## 2 各部署の取組

### (継続中の取組及び前回本部員会議以降に実施した取組の概要)

※ 太枠：前回本部員会議以降に実施した取組

#### ◆ 総務部

- 年末年始における職員の感染拡大防止のため、職員がまとまった休暇を柔軟に取得できるよう、業務の見直しを求めたほか、帰省や旅行の際は時期を分散するなど人の密集を避けるよう各所属宛てに通知（11/5）

#### ◆ 企画調整部

- 「都道府県・指定都市と総務省とのホットライン」（都道府県・指定都市と総務省との間で情報共有を図る仕組み）に、県の現状・対策、具体的な課題、政府への要望事項を報告
- 「Challenge! ソーシャルディスタンススポーツ in J ヴィレッジ」の開催（10/25）
  - ・ コロナ禍での県民の健康不安や運動不足の解消を目的とした健康増進イベントの開催。
  - ・ 約 500 名がタレントの田中律子さんによるヨガ教室を始めとした適切な間隔を置いた既存スポーツや、With コロナ期でも可能なニュースポーツなど、新しい生活様式に対応した運動を体験。
  - ・ 今後、当日の映像を活用し、運動を推奨するテレビCMを放送予定。

#### ◆ 生活環境部

- 県政 CM、県政ラジオ番組（FM）、新聞の県政広報枠等を活用し、随時新型コロナウイルス感染症に便乗した悪質商法に対する注意喚起を呼びかけ。

#### ◆ 保健福祉部

- 高齢者等施設等で働く介護職員が感染し、出勤が困難となった際のサービス提供継続に資するため、「高齢者等施設等への応援職員派遣支援事業」を立ち上げ、県老人福祉施設協議会へ委託

#### ◆ 観光交流局

- 福島空港利用者がサーモグラフィで自己検温できる体制を整備（出発、到着とも対応可）
- 県アンテナショップ等で利用できるプレミアム付き商品券「ふくしま県産品応援商品券」発行

◆ 農林水産部

- インバウンドの減少や外食需要の激減に伴い、高価格帯の農畜産物の価格が大きく下落していることから、オンラインストアを活用した生産者応援キャンペーンを実施（5/15～）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により消費が減退している県産花きについて、公共施設等における展示を契機とした利用定着、活用拡大の取組を支援する（7/8～）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により急激に消費減少し、販売価格が大幅に低迷している県産牛肉、県産地鶏、県産水産物について学校給食での消費拡大を図る（7/8～）
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、中食・外食産業での米の消費量が減少し、民間の米の在庫量が増加することに伴い、令和2年産米の価格下落が懸念されていることから、令和2年産の主食用米を飼料用米に転換推進を図る（7/27～）
- 新型コロナウイルス感染症収束後、訪日外国人が安心して利用できる環境を整えるため、飲食店が行う衛生管理の徹底・改善を図るための設備導入や店舗の改装等に対して補助金を交付（7/27～）
- 新型コロナウイルスの影響による外出自粛に伴い、遊漁料収入が大幅に減少している内水面漁協の溪流魚放流に支援し、資源の維持と漁協経営の安定を図る。（10月下旬～）

◆ 土木部

（1）県有施設関係

- 相馬港及び小名浜港において、緊急事態宣言解除に伴い、釣り施設の利用自粛及び緑地内の公園にある遊具の利用を禁止するための看板を「3つの密を避けましょう」の掲示に変更（5/22～）

（2）その他

- 福島空港に就航する国内定期及びチャーター便の航空機使用者を対象に、令和2年度及び令和3年度分に係る空港使用料の全額減免を行うこととした。（令和2年9月議会福島空港条例改正）
- 県営住宅入居者のうち、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、転職、退職等により、収入が著しく減少した入居者又は現状の家賃が支払うことが困難であると認められる入居者の家賃を減免・徴収猶予
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、解雇等により住居から退去を余儀なくされた方に、県営住宅の空き住戸を一時提供  
使用期間：原則6ヶ月  
使用料：一時提供する住戸で定められた最低家賃の1/2の額

◆ 出納局

- 物品購入(修繕)競争入札参加資格の申請方法について、申請書

を持参する取扱のところをすべての事業者に対して郵送を可とした(4/6～)

◆ **教育庁**

- 県立学校や県立図書館、美術館などの社会教育施設等における感染拡大防止の取組の徹底

◆ **企業局**

- 工業用水道施設における感染防止対策の取組徹底（消毒液の設置、来庁者のマスク着用の徹底、関係者以外の立入制限など）
- 工業用水道料金の支払いについて、支払いに支障が生じている使用者の申請に基づき、令和2年4月分から最長3カ月間猶予

◆ **病院局**

(1) 県立病院

- 感染が疑われる患者が来院した場合には、入り口や動線を区分し、他の患者等との接触を防止
- 職員や面会者を介した院内感染防止対策の強化
  - ・職員：勤務前に検温を実施（3/6～）
  - ・面会者：入院患者への面会の禁止・制限（3/9～）
- 院内感染対策委員会を随時開催し、最新情報に基づく適切な院内感染対策を実施
- 各病院におけるマスク等の在庫状況を病院局で定期的に確認し、不足する病院があれば、病院間で在庫を調整（3/11～）
- 各県立病院における外来患者来院時の感染拡大防止策の見直しを実施（4/17～）

(2) その他

- 実習生（看護実習、その他）の受け入れの延期（4/9～）

◆ **議会事務局**

- 議員の登庁前検温等の体調チェックの実施、発熱・咳等の風邪症状がある場合の登庁自粛及び登庁時のマスク着用の徹底（4/16～）

◆ **警察本部**

(1) 県民向け対策

- 警察施設における感染防止対策（消毒液の設置、ドアノブ等のアルコール除菌清掃、ビニールカーテン等仕切り導入等）
- 運転免許更新手続きの延長措置
- 繁華街におけるパトロールの強化
- 来庁時の感染防止、新型コロナウイルス感染症に便乗した関連犯罪被害防止の広報（県警ホームページ、新聞、テレビを通じた

広報を実施)

(2) 勤務体制

- サテライトオフィスの運用（執務室の分散による感染拡大防止対策）

◆ 総務部、教育庁、企業局、病院局、議会事務局、人事委員会事務局、県警察、監査委員事務局

- 在宅勤務、時差出勤、職員の体温測定等の実施

## プレスリリース



令和2年11月10日  
 福島県新型コロナウイルス対策本部医  
 療対策班（保健福祉部薬務課）  
 課長 持立 隆司  
 主幹兼副課長 眞壁 勝  
 内線：2745・2746  
 電話：024-521-7231

## 新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査可能検体数の 取り扱いの変更について

新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査可能検体数については、これまで832検体としてきたところですが、今後は以下のとおり、2,004検体と変更します。

### 1 変更内容について

- 変更前：832検体（行政検査可能検体数）

行政検査の内訳：県衛生研究所、中核保健所、県立医科大学の検査可能検体数  
 民間検査機関に行政検査として確保した検査検体数

- 変更後：2,004検体（行政検査可能検体数(832) + 保険診療検査可能想定  
 検体数(1,172)）

保険診療検査の内訳：病院から民間検査機関へ外注して検査する検体数（585）  
 検査機器を有する県内医療機関が実施する検体数（587）

### 2 変更の背景について

- 検査開始当初は行政検査だけで検査対応していたところであり、3月6日以降保険診療が適用されましたが、保険診療による検査を実施する医療機関が少なかったことから、行政検査可能数のみを県の検査可能総数とし、検査実績には、保険診療による検査数も含めていました。

- 11月8日の検査においては過去最高の877検体の検査となり、これまで公表してきた832検体を超えたことから、実際の検査内容を踏まえ、行政検査可能検体数と保険診療検査可能想定検体数を合算して公表することとしました。

<11月8日検査実施の877検体の内訳>

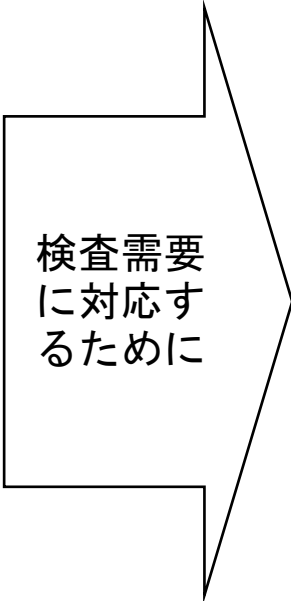
行政検査	518検体
保健診療検査	359検体

- 現在 行政検査の可能検体数は、臨時的には1,200程度まで増加させることが可能となっております。



## 新型コロナウイルス感染症に関する 今後の検査需要と体制について

検査需要の見通し（ピーク時 1 日）	
○検査需要 合計	7, 6 1 1 件／日
（内訳）	
①新型コロナウイルス感染症固有の検査需要等	7 7 6 件／日
②インフルエンザの流行に伴う発熱患者等の検査需要	6, 8 3 5 件／日



ピーク時に対応するための検査体制	
○検体採取能力	7, 6 1 1 件／日
○検査（分析）能力	9, 2 4 8 件／日
（内訳）	
①PCR検査	2, 2 3 2 件／日
②抗原定量検査	1 6 8 件／日
①+② 計	2, 4 0 0 件／日
（①②に係る現状の検査可能件数	2, 0 0 4 件／日）
③抗原定性検査	6, 8 4 8 件／日
※簡易検査キットによる対応	

**【対策】**  
 ピーク時の検査需要に対応するため、12月末まで対応可能な医療機関を **457カ所** に拡大していく。  
 （11月9日時点の県内医療機関の検体採取能力 362カ所 5,792件／日）

# 新型コロナウイルス感染症対策に御協力をお願いします。

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会では、以下のような感染リスクを高めやすい具体的な場面が示されています。

(令和2年10月23日(金)新型コロナウイルス感染症対策分科会)

### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



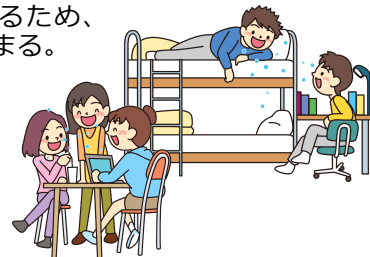
### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



### 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



## 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

- ① 少人数・短時間で、
- ② なるべく普段一緒にいる人と、
- ③ 深酒・はしご酒などはひかえ、  
適度な酒量で。
- ④ 箸やコップは使い回さず、  
一人ひとりで。
- ⑤ 座の配置は斜め向かいに。
- ⑥ 体調が悪い人は参加しない。
- ⑦ マスクできない飲食中は会話を控える。
- ⑧ ステッカーを掲示するなど感染対策が  
しっかりしている店舗を利用する。

感染防止対策取組ステッカー



## 家庭内の場面では

- ① 必要に応じてマスク着用
- ② こまめに手指消毒
- ③ 定期的に換気する



- ④ 症状があったら外出せず、**かかりつけ医**や  
**受診・相談センター**へ連絡



受診・相談センター  
0120-567-747

## <事業者の皆さまへ>

- ① 各業界団体のガイドラインの徹底を！
- ② 「新型コロナウイルス 感染防止対策取組ステッカー」や「新しい生活様式実践ポスター」、「接触確認アプリ」を積極的に活用しましょう。



(業種別の)  
ガイドラインの  
対策徹底

新型コロナウイルス接触確認アプリ  
COCOA Google Play App Store  
(アンドロイド版) (iPhone版)



# 参考指標

※カッコ内は福島県の数値

	医療提供体制等の負荷		療養者数	監視体制	感染の状況		
	病床のひっ迫具合 ※			PCR陽性率	新規報告数	直近1週間と先週1週間の比較	感染経路不明割合
	病床全体	うち重症者用病床					
ステージⅢ	現時点の確保病床数占有率 1/4 (25%) 以上 (118/469床以上)	①最大確保病床の占有率 1/5 (20%) 以上 (10/50床以上) ②現時点の確保病床数占有率 1/4 (25%) 以上 (11/42床以上)	人口10万人あたりの全療養者数 15人以上 (入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数) (277人以上)	10%	15人/10万人/週以上 (277人以上)	直近1週間が先週1週間より多い	50%
ステージⅣ	現時点の確保病床数占有率 1/2 (50%) 以上 (235/469床以上)	①最大確保病床の占有率 1/2 (50%) 以上 (25/50床以上)	人口10万人あたりの全療養者数 25人以上 (462人以上)	10%	25人/10万人/週以上 (462人以上)	直近1週間が先週1週間より多い	50%
本県の現状 (11月11日現在)	※1 7.9% (37床)	※1 ① 4.0% ② 4.8% (2床)	※2 2.17人 (40人)	※3 ※4 0.5% (20件 / 4,269件)	※2 ※3 1.08人 (20人)	※3 + 6名 (直近 20人 / 先週 14人)	※3 ※5 20.0% (4人 / 20人)

注 ※ 「病床のひっ迫具合」の「病床全体」については、本県においては既に病床確保計画上の感染ピーク時病床数（350床）を上回る469床を確保しているため、「最大確保病床の占有率」ではなく、「現時点の確保病床数占有率」を指標として設定。  
また、「うち重症者用病床」については、現時点では、病床確保計画上の感染ピーク時病床数（50床）の確保に至っていないため、「最大確保病床の占有率」と「現時点の確保病床数占有率」の両方を指標として設定。

- ※1 本県の現状病床数には入院予定を含む。
- ※2 人口については、国推計人口「都道府県、男女別人口及び人口性比—総人口、日本人人口(2019年10月1日現在)」により算定（1,846千人）。
- ※3 直近1週間（11月5日(木)）～11月11日(水)の累計により算定。
- ※4 PCR陽性率のうち、陽性者には抗原検査による判明者を含む。
- ※5 感染経路不明割合のうち、経路不明には調査中（県外感染疑いを含む）を含む。